

万葉のふるさと高岡 フォトコンテスト 作品募集!



平成29年度万葉大賞
「蒼沢な一時」 泉田幸夫

応募期間 平成30年 6月1日(金)~11月15日(木) 必着

テーマ

大伴家持が歌に詠んだ植物2

あわせて山上憶良が詠んだ秋の七草の歌に関する作品をお寄せください

【応募規定】

- 一人2点まで。未発表または他に応募していない作品に限ります。
- 応募作品はモノクロかカラーで、ワイド四つ切り(254ミリ×366ミリ)サイズのみとします。
- 入選・入賞作品はデジタルデータ(JPEG形式、容量が2メガバイト以上)で提出していただきます。提出できない場合、失格となる場合もあります。
- 入選・入賞された場合、展示する際に、主催者により作品を縮小・拡大することがあります。あらかじめご了承ください。
- 応募作品の裏面に天地を同じ方向にチラシの裏の応募票(自作可・高岡市万葉歴史館HPにも掲載)をしっかりと貼付し、作品保護のため一枚ずつ透明または半透明な袋に入れてください。
- 応募された作品は返却しないことをご了承ください。

【作品の著作権について】

- 入選・入賞作品の著作権は撮影者に帰属しますが、当館の展示・印刷物・広告・インターネットなどの電子メディアをはじめ、トリミングなどの加工して、多目的に活用することを無償で承諾するものとします。
- 他者の権利(被写体の肖像権など)を含む著作物を使用する場合は、必ず権利者の承諾を得てください。肖像権を侵害するなど本コンテストに応募することにより発生した損失や損害に関するトラブルの責任は一切負いません。そのような作品の入選・入賞が判明した場合は、取り消しさせていただく場合があります。

【留意事項】

- 家持が歌に詠んだ植物や秋の七草については、裏面を参考にしてください。各植物の歌については当館までお問い合わせください。
- 万葉植物をテーマとしているため、下記のものについては、次のような品種や形状に限定します。
桜…エドヒガンザクラ・カスミザクラ・ヤマザクラなどの野生種(園芸種・ソメイヨシノは不可)
梅…野梅性の一重の白梅 椿…ヤブツバキ・ユキツバキ なでしこ…カワラナデシコ
ちちの実…イチヨウ・イヌビワの実 ははそ葉…クヌギ・コナラの葉
かきつばた・あやめ草…ハナショウブは不可 竹…モウソウチクは不可 百合…ササユリ
ぬばたま…ヒオウギの実 あじさい…ガクアジサイ・ホンアジサイ(園芸種は不可)

審査員

金山 嘉宏(ミュゼふくおかカメラ館館長)
坂本 信幸(高岡市万葉歴史館館長)

発表

平成31年1月上旬に北日本新聞紙面と当館ホームページで発表。
※入選・受賞された方には個別に通知します。

入賞作品

万葉大賞(1点) …… 賞金2万円
家持賞(1点) …… 賞金1万円
入選(5点) …… 賞金5千円
佳作(10点以内) …… 賞品

主催 高岡市万葉歴史館

後援 北日本新聞社

応募先

〒933-0116 高岡市伏木一宮1-11-11
高岡市万葉歴史館
「フォトコンテスト」係

電話 0766-44-5511
FAX 0766-44-7335



高岡市万葉歴史館特別展示

万葉のふるさと高岡フォトコンテスト 入賞作品展

平成31年1月30日(水)~3月11日(月) 場所:高岡市万葉歴史館・回廊

平成30年度 万葉のふるさと高岡フォトコンテスト応募票			
ふりがな			
氏 名	男 ・ 女 歳		
住 所	〒 ー		
電 話	自宅 ー ー	携帯 ー ー	
ふりがな			
作 品 名			
作品に対するコメント、意識した万葉歌などがあればお書きください ※展示の際に作品と共に掲示する場合がありますのでご了承ください			
万葉集 巻 番			
撮 影 日	昭和 ・ 平成 年 月 日		
撮 影 場 所			

応募作品の裏面に天地を同じ方向にして、はがれないようにしっかり貼付してください。

【大伴家持が歌に詠んだ植物】 ※チラシ表「留意事項」も必ずご覧ください。

アシ・アシツキ・アセビ・アジサイ・アマドコロ・イチヨウ・イヌビワ・イネ・ウツギ・ウメ・エゴノキ・オキナグサ・オミナエシ・カワラナデシコ・カキツバタ・カサスゲ・カタクリ・カンゾウ・クス・クヌギ・コナラ・コノテガシワ・サクラ・シダレヤナギ・ショウブ・スギ・ススキ・スモモ・センダン・タケ・タチバナ・チガヤ・ツガ・ツゲ・タブノキ・ニホンアカネ・ニワウメ・ネムノキ・ハギ・ヒオウギ・ヒルガオ・ハンノキ・ヒカゲノカズラ・フジ・ベニバナ・ホオノキ・マツ・モモ・ヤドリギ・ヤブコウジ・ヤブツバキ・ヤマブキ・ユリ・ヨモギ

【山上憶良が歌に詠んだ秋の七草(花が咲いているもの)】

ハギ・ススキ・クス・フジバカマ・オミナエシ・カワラナデシコ・キキョウ・ムクゲ

※万葉歌の「朝顔」は現在のアサガオではなく、キキョウ・ムクゲなどの説があります。

※下線を引いた植物の作品は作品数が少ないので、特に募集しています。